

「CATY」の名前は、「CAMPUS」と「CITY」からの造語で、地域と大学の相互理解、交流促進を目的として生まれました。
「地域との共生 社会に学ぶ」を合い言葉に、高等教育機関としての教育研究の成果を、地域に発信します。また学生が取材活動を通じて、読む・書く・話すといった能力を開発していくことも意図しています。

向学心さらに膨らむ

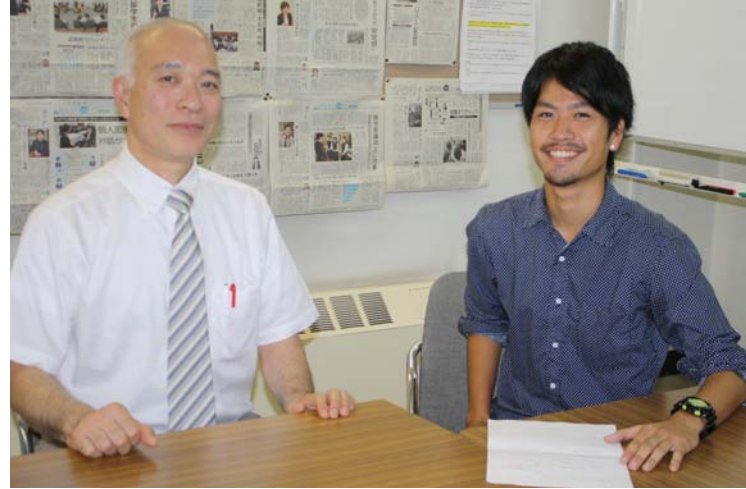
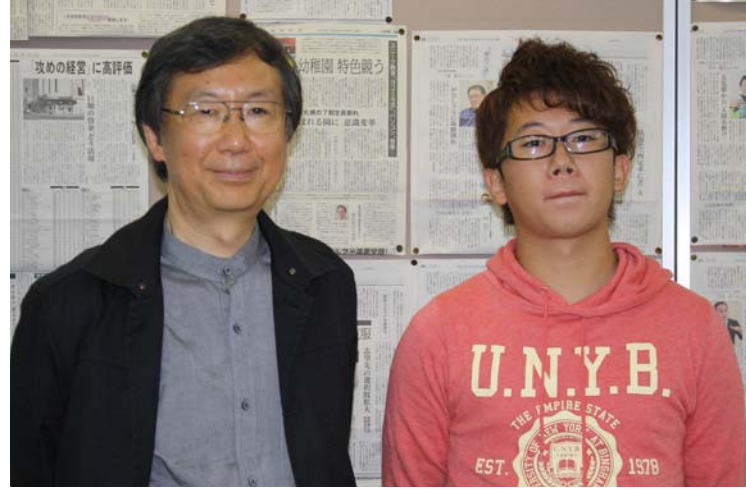
短大部で集中講義

「宗教学」と「異文化」

國學院大学 教授陣が授業
石井先生の授業は、教科書だけでは理解が難しいところを写真の映像で見せて解説してくれた。時には宗教に例えられたり、とも面白く、女の手が見える瞬間、返される六道輪廻の思想、生死過程の儀礼の不思議など、日本人の死後の世界の考え方など、神道の事だけでなく、他の宗教や、現代と宗教の関係をどうしているか、まで思いもよらなかつた新たな文化の発見を学ぶことができた。

アニメ素材に分かりやすく
國學院大学北海道短期大学部では、9月10日から23日まで集中講義が開講された。私が今回受け持った講義は、神道やキリスト教などそれぞれの特殊な文化、それぞれの神話、祭りの儀礼の意義、シャーマニズムなどといった、これまで学んだことのない「宗教学」という講義。講師は、宗教学・宗教社会学が専門の石井先生だ。先生はアニメを研究の素材としてたくさんご覧になっているが、深後ア

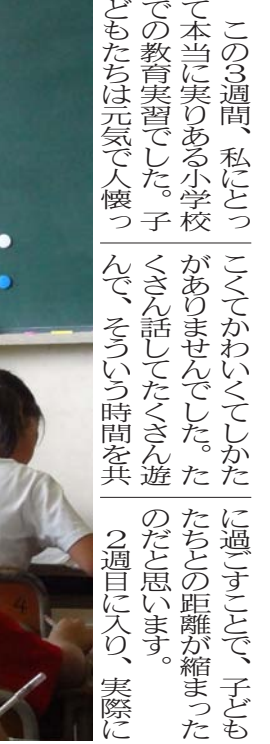
ニメのような一部の人に好まれるものもある。一般的に人気のあるアニメ、例えばプリキリヤや、まどかマギカ、ワンピースなどを手元に持っている。先生は「アニメを研究の素材としてたくさんご覧になっているが、深後ア



集中講義は1限目から4限目まで、4日間の集中的に講義を行うというもので、主に東京の國學院大学からいらつしやした先生の講義や資格取得のための講義が開講された。この講義の先生は、自国と他国が持つ文化の間に起る「コミュニケーション」のズレ、つまり異文化間のコミュニケーションというものを中心として研究している。國學院大学・文学部外国語文化学科教授の野呂健生先生だ。写真下。

授業はキャッチボール

この3週間、私にとって本気で向きあふ小学校の教育実習でした。子どもたちとの距離が縮まったのを実感しています。子どもたちは元気で人懐っこいので、子どもとのやり取りが楽しかったです。



授業は自分と向きあふ。実際に自分が授業を進めていく中で、子どもたちとのやり取りが楽しかったです。授業は自分と向きあふ。実際に自分が授業を進めていく中で、子どもたちとのやり取りが楽しかったです。

障害への理解が重要



7月3、4日の雨電高等養護学校の実習で、私は多くの新たな発見がありました。実習前はそのような生徒がいるのか、という不安で、実習中もその不安がずっとありました。

出張講座」活用して

「FM-CATY」聞いて下さい

最後に、野呂先生が研究分野に興味を持ったきっかけが、「唯一」のことだったから。一つは、先生一人ひとりが自分だけのものづくりをする。先生は授業は「FM-CATY」が中心というので、先生一人ひとりが自分だけのものづくりをする。先生は授業は「FM-CATY」が中心というので、先生一人ひとりが自分だけのものづくりをする。



短大部の魅力を発信

私は國學院大学北海道短期大学のボランティア活動員として、地域のFM-CATYに、CATYの魅力を発信しています。FM-CATYの魅力を発信しています。

豊かな自然に美唄を



私のふるさとである北海道美唄(ひび)市は、ハスカップの生産量、日本一を誇る。登別温泉の源泉は、美唄市にあり、自然がもたらした豊かな環境。美唄市の魅力を発信しています。

入試説明や体験授業

10月5日に第4回オープンキャンパスを実施いたします。入試説明・学業体験(体験授業)の雰囲気を感じていただくチャンスです。また、同時に保護者の方への説明会も実施いたします。

入試説明・学業体験(体験授業)の雰囲気を感じていただくチャンスです。また、同時に保護者の方への説明会も実施いたします。

入試説明・学業体験(体験授業)の雰囲気を感じていただくチャンスです。また、同時に保護者の方への説明会も実施いたします。